

第4回令和の年金広報コンテストの実施に向けて

資料2

厚生労働省年金局総務課年金広報企画室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

第4回令和の年金広報コンテスト

■ コンテストの目的

- ・次代を担う若い世代の皆様と一緒に、年金（公的・私的）について考えることを目的として、ポスター部門、動画部門の2部門で年金に関する作品を募集。

■ 第4回コンテスト実施に当たっての方針（案）

- ・コンテストのより一層の発展を目指し、年金について共に考える機会の創出という本コンテストの趣旨・目的を達成するため、以下の取組を進める。
 - ① コンテストへの応募件数の更なる増加を目指す。（令和3年度実績：ポスター部門135件、動画部門22件）
 - ② クリエイティブ性の重視を含め、応募作品の質的向上・多様化を図る。
 - ③ 受賞作の活用等を通じて年金広報を推進するとともに、コンテストに関する認知度自体の向上も図る。
- ・上記取組を達成するため、他の公的主体が実施しているコンテストの例も参考に、コンテストの要項の一部を以下のとおり見直す。

第4回令和の年金広報コンテスト

● 変更点1

これまで「年金の意義」「保険料納付の大切さ」など、年金に関する知識の伝達を重視した作品を募集していたところ、第4回は、クリエイティブ性の高い作品も含めて幅広い作品の応募を求めるべく、年金について自由に表現する作品を募集することとする。

変更前

「年金の意義や、保険料を納めて年金を受け取る手続きをとることの大切さが、一般の皆様に広く伝わるような作品を作成してください。」



変更後

「一般の皆様の年金についての関心を高めるような作品を自由な表現で作成してください。」

● 変更点2

ポスター部門について、応募件数の増加も踏まえ、多様な評価基準を設ける観点から、第4回は、応募者の属性により「小・中学生の部」「一般（高校生以上）の部」の年代別の部を設ける。

変更前

（年代別の分けなし。）



変更後

- ① 小・中学生の部
- ② 一般（高校生以上）の部

第4回令和の年金広報コンテスト

● 変更点3

ポスター部門について、「年金の日」や「年金積立金」などをテーマの参考例に追加し、これらをテーマとする応募作品の増加を図る。また、これらが例示であることを強調し、自由な発想に基づく多様な応募作品を求めることとする。

変更前

- 1 ポスターのテーマについて
以下のテーマを参考にして、作成してください。
 - ① 20歳になったら？（例 国民年金の加入）
 - ② 保険料が払えないときは？（例 保険料の免除、学生納付特例制度）
 - ③ もしもの時に支えてくれる年金って？（例 障害年金、遺族年金）
 - ④ 就職、転職、退職、起業するときは？（例 企業年金（確定給付企業年金（DB）、企業型確定拠出年金（企業型DC））、国民年金の手続き）
 - ⑤ 老後の暮らしを考えてみると？（例 ねんきんネット、iDeCo（個人型確定拠出年金））
 - ⑥ その他の手続き



変更後

- 1 ポスターについて
一般の皆様年金についての関心を高めるような作品を以下の「年金に関する事柄」を参考にして、自由な表現で作成してください。あくまで例ですので、以下の例に限らず応募ください。
 - ① 年金の日（厚生労働省では、国民一人ひとり、「ねんきんネット」等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らす日として、毎年11月30日（いいみらい）を「年金の日」としています）
 - ② 20歳になったら？（例 国民年金の加入）
 - ③ 保険料が払えないときは？（例 保険料の免除、学生納付特例制度）
 - ④ もしもの時に支えてくれる年金って？（例 障害年金、遺族年金）
 - ⑤ 就職、転職、退職、起業するときは？（例 企業年金（確定給付企業年金（DB）、企業型確定拠出年金（企業型DC））、国民年金の手続き）
 - ⑥ 老後の暮らしを考えてみると？（例 ねんきんネット、iDeCo（個人型確定拠出年金））
 - ⑦ その他（例 年金積立金の活用、被用者保険の適用範囲の拡大、繰下げ受給制度の活用）

第4回令和の年金広報コンテスト

● 変更点4

動画部門については、年金制度の概要説明を目的とする動画の応募が大勢を占めているところ、募集する動画の内容を明確化するとともに、手軽に応募が可能な短時間の動画の応募も可能であることを付け加えることにより、応募動画の更なる質的・量的向上を図る。また、動画の上限を5分以内にする。

変更前

10分以内の動画を募集



変更後

年金に関する動画を募集します。

以下の例を参考に作成ください。

- ・年金についてPRするCMのような動画（6秒～30秒程度）
 - ・年金についてあまり知らない方を含め、誰にでも年金の意義や大切さが伝わり、感動や共感を呼ぶ動画（31秒以上5分以内）
- など

■ その他の取組

- ・応募件数を増加するための募集時における工夫
- ・受賞作品の年金広報への更なる活用方策の検討

等

第4回令和の年金広報コンテスト（案）

■ コンテストの目的

- ・次代を担う若い世代の皆様と一緒に、年金（公的・私的）について考えることを目的として、
①ポスター部門（小・中学生の部、高校生以上の部）、②動画部門の2部門で年金に関する作品を募集。

※日本年金機構「わたしと年金」エッセイと同時期に実施。

■ 応募期間

- ・令和4年6月1日（水）～9月9日（金）を予定 ※日本年金機構「わたしと年金」エッセイと同時期に実施。

■ 賞

- ・部門（ポスターは各部）ごとに厚生労働大臣賞、年金局長賞、協賛特別賞等を授与予定。

※協賛団体は日本年金機構、年金積立金管理運用独立行政法人、国民年金基金連合会、企業年金連合会、公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構を予定。

■ 審査手続

- ・厚生労働大臣賞・年金局長賞は、厚生労働省において第1次審査を実施した上で、外部有識者からなる「年金広報コンテスト審査委員会」での審査を経て各賞決定。
- ・協賛特別賞は協賛団体における審査を経て決定。

■ 各賞の発表等

- ・受賞作品は、「年金の日」（11月30日）に厚生労働省ホームページにて発表予定。
- ・厚生労働大臣賞については、表彰式を開催する予定。

(参考 1) 第 3 回コンテストの応募状況 (第 13 回年金広報検討会資料より)

■ ポスター部門 (A 4 サイズ)

応募件数 **135件**

応募者の年齢層	人数
10代 (10歳未満含む)	6 7
20代	3 5
30代	6
40代	1 3
50代	2
60代以上	6
その他 (法人など)	6

(参考) 昨年の応募件数 30件

応募者の年齢層	人数
10代	3
20代	1 4
30代	4
40代	7
50代	1
60代以上	1
その他 (法人など)	0

■ 動画部門

応募件数 **22件**

応募者の年齢層	人数
10代	1
20代	1 8
30代	0
40代	3
50代	0
60代以上	0

(参考) 昨年の応募件数 3件

応募者の年齢層	人数
10代	0
20代	3
30代	0
40代	0
50代	0
60代以上	0

(参考2) 第3回厚生労働大臣賞受賞作品の活用

■ 第3回コンテスト厚生労働大臣賞受賞作品の活用

- 第3回コンテストの大臣賞受賞ポスターが、学生納付特例制度をテーマにしたものであったことから、
 - ①同制度を広く周知するとともに、
 - ②コンテスト自体の広報も図ることを目的として、ポスターを印刷し、令和4年3月に順次全国の学生納付特例事務法人たる大学、専門学校等（約430か所）に配布する。

(※) 学生納付特例制度においては、学生の方がより手続きをしやすくする観点から、大学等教育施設が学生の委託を受けて、申請の代行ができる学生納付特例事務法人制度がある。

